

日本地球惑星科学連合

秋の公開講演会 2016

「変動する地球 — 地震・生態系を探る最新研究」

主催：公益社団法人日本地球惑星科学連合

DATE 2016年11月27日(日)
13:00 ~ 16:00

VENUE 東京大学本郷キャンパス
理学部1号館2階 小柴ホール

講演者



Naomi HARADA

二酸化炭素問題と海洋生態系 原田尚美 (JAMSTEC)

人類活動の活発化によって大気中で増え続ける二酸化炭素。地球温暖化に加えてもう1つの問題があらわになりつつある。海洋酸性化である。海水中に二酸化炭素が溶け込むことによって、海水のpHが低下していく現象である。既に全世界の海で酸性化が進行中であることが観測からわかってきた。北太平洋亜寒帯域と北極海の最新の研究結果や私たちの食生活に直接結びつく事例を紹介しながら、海洋酸性化とは何か？また、海洋酸性化が進むと海洋に生息する生物にはどのような影響があるのか？について紹介していく。

熊本地震と日本の地震災害 平田直 (東京大学地震研究所)

2016年4月に熊本地方で発生した地震(熊本地震)によって110人以上が犠牲になり、8千棟超の住家が全壊した地震災害(震災)が発生した。熊本地震の重要な特徴は熊本県益城町で震度7が28時間を経て2度発生したことである。熊本を含む九州地方中部では、これまで大きな地震が発生した証拠があるにも関わらず、地震への備えが必ずしも十分でなかった。このことは、日本の各地でも繰り返される恐れがある。災害を軽減するために何に留意する必要があるか、特に地震の起き方と揺れの特徴をもとに考えてみよう。



Naoshi HIRATA

参加費 無料 (事前申込制, 定員 150 名 ※定員になり次第締め切ります)

詳しくは右のQRコードまたは下記URLより申込みサイトをご確認ください。
<http://www.jpogu.org/public/20161127/>

公益社団法人日本地球惑星科学連合

113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4F
TEL:03-6914-2080 / Mail: office@jpogu.org



詳細はこちら